

令和元年度
バイオセーフティ技術講習会
(病原体等安全管理技術者養成講座)

主任管理コース・第24期

実施要項

期 間：令和元年9月25日（水）～9月27日（金），3日間
会 場：① イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム
（千葉県習志野市茜浜 1-12-3）
② バムサ・環文研研究所 （千葉県習志野市茜浜 1-12-3）

令和元年9月

NPO法人 バイオメディカルサイエンス研究会（バムサ、BMSA）
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 日本感染症医薬品協会ビル内
TEL：03-5740-6181 FAX：03-5740-6185 E-mail：info@npo-bmsa.org

バイオセーフティ技術講習会について

＜主任管理コース・第24期＞

〔背景と目的〕

現代社会が生み出した医療公衆衛生分野における新しい問題すなわちエマージング（新興）感染症およびリエマージング（再興）感染症との戦いが続いております。

1993年、世界保健機関（WHO）は、「人類は未だ感染症の脅威にさらされている。病原微生物の新たな挑戦に緊急に対処しなくてはならない。」との警告を発し、現在もこの警告に対応すべく感染症防止対策に世界中の努力が傾けられているところです。

因みに、2002年に中国で発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）、2009年4月にメキシコで端を発したとされるインフルエンザ（H1N1）、そして本邦においても2010年の口蹄疫や2011年の腸管出血性大腸菌O111集団感染が発生するなど感染症に広く注意が傾けられています。また、2013年には再び中国を発生源とする高病原性鳥インフルエンザ（H7N9）や、2014～2015年は、西アフリカに端を発するエボラ熱の感染拡大があり、コンゴにおいても感染が拡大しております。そのため今年7月、WHOの非常事態宣言が発せられ、2020年にオリンピック、パラリンピックを開催する我が国としては憂慮すべき事態となっています。また、2014年に我が国内でのデング熱の広がり、同年の韓国でのMERSの広がり、2016年のブラジルでのジカ熱の拡大、また、2016年に都内警察署で結核の集団感染が起り、さらに梅毒の感染者数が依然増加しております。麻疹に加え風疹の流行に対して30から50代にかけての男性へのワクチン接種が急務の状態です。それらを踏まえて、継続して感染症への警戒と対策が国内外に強く求められております。

これらの感染症対策と相俟って微生物関係施設においては病原体等の試験検査および実験研究、遺伝子組換え技術、医薬品等の開発研究・製造などの様々な分野におけるバイオセーフティを確保する必要性が常に求められております。さらに院内感染防止や災害時における病原体等の管理、そしてバイオテロなどに対するバイオセキュリティも世界的な重要課題となっております。

このように社会の脅威と不利益に直結する多岐にわたるバイオセーフティの課題に対応するためには専門的な教育と訓練が不可欠です。

本主任管理コースではこれらの諸問題を視野におき、遺伝子組み換え生物実験を含めたバイオセーフティ関連業務に従事される方々を対象として、バイオセーフティに必要とされる「ソフト」と「ハード」両面の知識と技術を習得していただくことを目的とします。

〔到達目標〕

病原体等に関する基礎知識とその安全取り扱い技術を習得したバイオセーフティの主任管理者が備えるべきさらに幅広い知識と管理技術の維持、発展に向けて理解することを目標とします。

〔講習会の形式〕

本講習会は、講義と討論、実習およびケーススタディ等の形式で実施します。

〔認定書の発行と認定更新研修会(新制度)について〕

本講習会の受講修了者で「認定試験」の合格者には、当会の「認定証」（有効期間は3年）を発行します。

当会では認定有効期間中に生じた認定者からのバイオセーフティに関する諸問題について優先的に相談等に対応します。

なお、本認定有効期間は「認定更新研修会」に出席することによって3年毎に繰り返し更新できる制度をこれまで実施してまいりましたが、平成25（2013）年度から本研修会への出席に加え、「所定の単位」を獲得する単位取得制を併用した新制度に移行することになりましたのでご了承ください。本新制度の詳細は講習会当日にご説明します。 以上

令和元年度 主任管理コース・第24期 実施要項

1. コース名：バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第24期
2. 講習期間：令和元年9月25日（水）～9月27日（金）、3日間
第1日目：9月25日（水） 講義（座学）、意見交換会
第2日目：9月26日（木） ラウンドディスカッション、デモンストレーション
第3日目：9月27日（金） 講義、実習、ケーススタディ、認定試験
3. 会場：①イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム
②バムサ・環文研研究棟
4. 対象分野：微生物試験検査・研究開発関係、医療・保健衛生・介護関係、医薬品製造関係、医・理化学機器関係、食品衛生関係、ビル衛生関係、医療廃棄物関係、バイオ施設・設備関係、バイオ研究開発関係、他バイオ関連分野。
5. 受講資格：原則として、前記4.の関係施設（事業所）に属し、当該施設（事業所）の「長」が推薦する次の①又は②に該当する方。（受講申込書に記入欄あり。）
 - ① バイオ関連実務経験者で「基礎コース」の認定後1年以上の方。
 - ② バイオ関連分野で3年以上の実務経験があり、上記認定者と同程度の知識・技術を有している方。
6. 受講料：

① 特別会員、	: 1名 42,000円（1施設2名以内）
② 賛助会員、国公立職員	: 1名 52,000円（1施設2名以内）
③ バムサ正会員（個人）	: 1名 62,000円
④ 上記以外の受講者（一般）	: 1名 72,000円

*受講料には資料代、実習用機材・消耗品費、意見交換会費等を含みますが、これらのうち不要なものがあっても受講料は同額です。
7. 定員：35名（但し、定員になり次第締切らせていただきます。HPに掲載）
8. 申込期限：令和元年9月3日（火）
9. 申込手続：下記5 pg.「受講申込書」に記入の上、事務局宛へFAXでお申込み下さい。
10. その他：
 - ①受講申込者には「受講票」を送付するとともに詳細をお知らせします。
 - ②昼食は用意いたします。
 - ③当日持参する物は文具類を除き、予防衣など特別な物は不要です。
 - ④今期からバイオメディカルサイエンス研究会編集「バイオセーフティの原理と実際」補助資料版を用意します。このため受講料が2,000円上がりますのでご了承ください。

以上

[事務局]

NPO法人 バイオメディカルサイエンス研究会（バムサ、BMSA）
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 日本感染症医薬品協会ビル3F
TEL：03-5740-6181 FAX：03-5740-6185
E-mail：info@npo-bmsa.org（担当：高橋）

令和元年度バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第24期

講習会内容（予定仮題）

I. 座学（第1日目：9月25日）

- *特別講演：行政における感染症対策（病原体等の適正管理）仮題
- *講義．感染症の動向
- *講義．バイオセーフティの国際動向
- *講義．カルタヘナ法とバイオセーフティ
- *講義．バイオリスクマネジメント（バイオテロ対策含む）
- *講義．バイオ実験研究における施設設計
- *特別講演：病原体等の安全輸送について（運搬）トピックス

II. ラウンドディスカッション（第2日目：9月26日 受講者による口演発表と討論）

本プログラムでは、バイオセーフティに関する施設の活動状況等について代表の方に学会形式により発表（原則）していただき、それについて受講者及び助言者を交えて意見交換を行うものです。このことにより、バイオセーフティに関する疑問あるいは問題点等について、その解決策を見出すとともに情報を共有することによってバイオセーフティの改善、啓発および発展に資することを目的とします。

なお、本プログラムは主任管理コースに特徴的なプログラムとして位置付けられているものです。

1. 目的：バイオセーフティに関する疑問や問題点の解決を図り、情報の共有化を図ることによりバイオセーフティの改善及び発展に資すること。
2. 方式：バムサで分野分けしたグループから若干名に口頭発表していただき、それについて参加者全員（助言者を含む）で討論及び意見交換を行う。
3. 発表内容：バイオセーフティに関する以下の項目を参考例として準備していただきます。
 - *バイオセーフティの活動状況（施設紹介等を含み、全項目あるいは項目を選択する。）
管理組織運営体制、施設・設備、規則等、教育、創意工夫、実績など。
 - *バイオセーフティに関する疑問、問題、課題等の提起とその考察及び意見や提案など。
 - *バイオセーフティに関する情報提供、将来展望及び期待することなど。
4. 発表時間：1人平均 15～20分間を予定しますが、受講者数により変動する場合があります。
5. 発表方法：原則としてパワーポイントの使用としますが、印刷物の配布あるいは口頭のみでも可とします。
6. 発表資料：当日持参でも差支えありませんが、可能であれば事前に当会事務局へメール添付でお送りください。印刷物（当日配布）は50部程度ご持参ください。
7. 同一施設、同一部署等から複数の受講者が参加される場合は、代表者の方に発表をお願いする場合があります。

III. 病原体等の輸送に関する実習講義と実習（第3日目：9月27日午前）

病原体等の輸送（運搬）に際して必要な手続き書類と梱包（包装）方法等について講義し、その後、運搬容器と包装材料等を用いる実習を行います。（予防衣等の持参は不要です。）

IV. ケーススタディ「BSL2 実験室として必要な設備基準」（第3日目：9月27日午後）

バムサ・環文研研究棟において、「BSL2 実験室」として設定されている施設の点検を目視と聞き取りにより「リスク評価」を行っていただきます。

点検は数名のグループ単位で実施し、その結果は各グループの代表者が報告し、全員で意見交換を行うことにより、バイオ実験室における管理運営技術の一助とします。 以上

受講申込書(FAX03-5740-6185)

受講番号 S24

令和1年度 主任管理コース(第24期)バイオセーフティ技術講習会

認定NPO法人
バイオメディカルサイエンス研究会

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-20-8

日本感染症医薬品協会ビル3F

TEL03-5740-6181 FAX03-5740-6185

令和 1年 月 日

申し込み締め切りは 9月3日(火) 但し、
定員になり次第受付終了します。HPに掲載

フリガナ	該当箇所に○をして下さい			業務内容を記入してください。
受講者氏名	男 印	特別会員	正会員	
フリガナ	女 印	賛助会員	国公立	
勤務先名				
所属部署				確認事項 ※ 受講申し込み受付後 受講票・請求書等をお送り致します。
勤務先所在地	〒 _____			
連絡先	TEL _____	内線 ()	FAX _____	
E-mail	_____@_____			
勤務先 推薦者名	印	推薦者の 役職		
通信欄			受講料振込み先 みずほ銀行 高田馬場支店 普通預金口座 2016431 バムサ バイオセーフティ ダイヒョウセジマシユンスケ

令和元年度 バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第24期

カリキュラム

会期：令和元年9月25日（水）～9月27日（金）、3日間

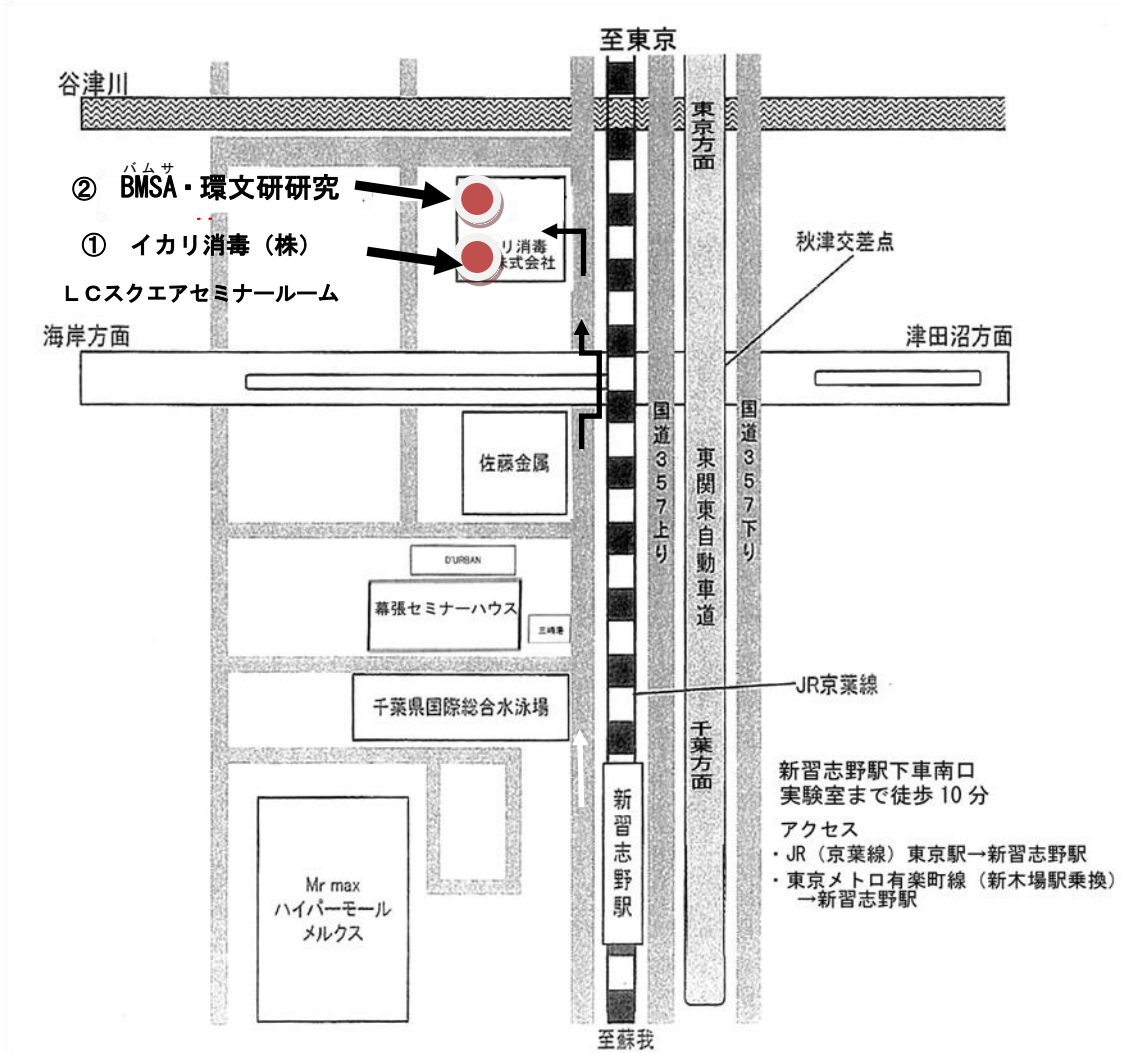
会場：イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム、バムサ・環文研研究棟

日 時	科 目 等	講師・敬称略
1日目（9/25） イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム		
8:45- 9:10	受 付	
9:10- 9:15(5)	開講挨拶	主催者代表
9:15- 9:40(25)	バムサ紹介・ガイダンス・認定更新の新制度	前川 秀彰
9:45-10:55(70)	講義1：バイオセーフティの国際的動向	杉山 和良
11:00-12:10(70)	講義2：バイオ実験施設の設計とバイオセーフティ(建築法他)	木場 裕介
12:10-13:10	(昼食休憩)	
13:10-14:20(70)	講義3：遺伝子組換え実験とバイオセーフティ(カルタヘナ法)	橋本 雄之
14:30-15:40(70)	講義4：感染症の動向と感染症法について	前川 秀彰
15:50-16:50(60)	特別講演：「病原体等の管理について」(仮題)	折衝中
17:00-19:00(120)	意見交換会(写真撮影)	全 員
2日目（9/26） イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム		
9:00- 9:30	受付(スライド、資料受付)	
9:30-12:00(150)	ラウンドディスカッション：バイオセーフティの現場から	(受講者)
12:00-13:00	(昼食休憩)	
13:00-13:50(50)	ラウンドディスカッション：バイオセーフティの現場から	(受講者)
14:00-14:20(20)	ケーススタディ(実験室のリスク評価) 方法の説明	前川 秀彰
14:20-14:35(15)	(LCスクエア セミナールームへ移動)	
14:35-15:45(70)	ケーススタディ：「BSL2 実験室として必要な設備基準」 (現場点検) <グループ単位で実施>	(受講者) 三宅・石川
15:45-16:05(15)	(LCスクエア セミナールームへ移動)	
16:05-17:30(85)	ケーススタディ「点検・評価結果発表」<グループ代表>	(受講者)
3日目（9/27） イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム、バムサ・環文研研究棟		
9:00- 9:30	受 付	
9:30-10:20(50)	特別講演：病原体等の安全輸送について(トピックス)	—
10:30-12:00(90)	実習：病原体等の安全輸送(梱包方法、書類作成等) <グループ単位で実施>	杉山 和良 (相坂成郎)*
12:00-13:00	(昼食休憩)	
13:00-13:50(50)	安全キャビネットの清掃・消毒・不衛生な状態と問題点	杉浦 彰彦
13:50-14:40(50)	デモンストレーション：安全キャビネットの除染方法について	杉浦 彰彦
14:40-16:00(80)	安全キャビネットの簡易検査方法：実習	杉浦 彰彦
16:10-17:10(60)	認定試験 イカリ消毒（株）LCスクエア セミナールーム	全 員
17:10-17:15(5)	閉講挨拶	主催者

○本予定は、都合により変更される場合があります。ご了承ください。

* 実習担当：(杉山和良、相坂成郎、前川秀彰、遠藤美代子、杉浦彰彦、三宅幸一、石川みちよ)

バイオセーフティ技術講習会 講義・実習会場（令和元年度主任管理）



①イカリ消毒 (株) LCスクエアセミナールーム

②バムサ・環文研研究棟

(講義、ラウンドデスカッション等、実習、ケーススタディ発表：実験室リスク評価)

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 1-12-3

TEL : 047-451-2419

JR 新習志野駅から徒歩10分です。